

平取町の物産展のお知らせ

なまらいいっしょ北海道フェア 2022

日時：11月5日（土）10:00～17:30

11月6日（日）10:00～17:30

場所：三軒茶屋ふれあい広場

（世田谷区三軒茶屋銀座商店街）

世田谷区太子堂 2-17-1

三軒茶屋駅北口 A 徒歩 3 分

（東急田園都市線、東京メトロ半蔵門線）

プレゼントあり

11月に都内で平取町の物産展が開催されます。今回は平取町商工会のご厚意により北海道びらとり会便り 11号持参の方に「びらとり和牛ハンバーグ」又は「びらとりハム」のいずれか一つを先着 20 名様にプレゼントが用意されています。是非会場に足をお運びください。

振内町にある「じゃんけんぼん」さんが「びらとり和牛」による和牛ハンバーグと二風谷にある「ムーブ」さんが「びらとりハム」、ベーコンをもって出店します。是非期待してください。なお、飲食などの制限があるかもしれませんのでご承知おきください。また、現時点では開催予定ですが、念のため「なまらいいっしょ北海道フェア 2022」HP で開催を確認の上、お出かけください。

ふるさと納税のお願い

平取町の 2021 年度の寄付件数は：6,390 件、寄付総額：1 億 4,671 万 6,000 円

広報びらとり 6月号に 2021 年度の平取町へのふるさと納税の実績報告が掲載されていました。それによると、全国からの寄付件数は、6,390 件、寄付総額は、1 億 4,671 万 6,000 円、返礼品のベスト 3 は、第 1 位「ニシパの恋人」トマトジュース」1,401 件、第 2 位「ラムシャブ」679 件、第 3 位「びらとり和牛 100% ハンバーグ」563 件とのことです。因みに、全国の自治体が 2021 年度に受け入れた寄付総額は、

8,302 億円、寄付件数は 4,447 万件で、いずれも過去最高を更新、寄付額が最多だったのは紋別市で 152 億円、2 位は宮崎県都市 146 億円、3 位は根室市 146 億円だった（2022 年 8 月 5 日付朝日新聞）。

私達は平取町への応援の一環として、平取町への「ふるさと納税」を推進しています。平取町のホームページ「暮らし・手続」にアクセスするか、又は下記にお問い合わせください。皆様のご協力をお願いします。

〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町 28 番地

平取町役場 観光商工課 商工労働係

TEL:01457-3-7703

FAX:01457-2-2277

E-mail:b.furusato@town.biratori.hokkaido.jp



皆様の投稿をお待ちしております

会員の皆様からの投稿をお待ちしています。便りを会員相互の情報交換の場としてもご利用下さい。内容は自由、字数、締め切り期日は問いません。宛先（廿日岩 久典）は以下のとおりです。

郵送の場合：〒343-0046 越谷市弥栄町 4-1-287

FAX の場合：048-978-8728

メールの場合：h-hisa@rg8.so-net.ne.jp

編集後記

平取町議会千葉議長には、ご多忙のところご無理をお願いして特別寄稿して頂きました。平取町が東京以北最大のトマト生産地であることを初めて知りました。先日横浜に住む娘から、びらとりトマトを買って、美味しかったとの Line がびらとりトマトの写真付きで送られてきました。トマト農家を中心とした新規就農者が順調に定着していること、学術的な観点から平取町独自のアイヌ文化の推進が図られていることなど最近の平取町の様子がよくわかりました。また、平取町議会では、議員発議で議員定数の削減が議決されたことは大英断だと思います。平取町議会の益々のご発展をお祈りします。船越さんに「びらとり自然ガイドクラブ「アオトラ」」を紹介して頂きました。アオトラ石、懐かしい名前です。今は亡き父が居間に置いていたことを思い出しました。「平取町に良い場所がたくさんあるけれど、町民で良い場所を知らない人が多いので知ってほしい。そして町の人から町外の方々へ伝えてほしい。そんな気持ちからです。」との記述がありました。私も同感です。平取の良さを発信して行きましょう。写真撮影にとどまらず幅広い活動をなさっているようです。同クラブの益々のご活躍をお祈りします。

2020 年から 3 年連続で総会が開催できません。忸怩たる思いですが、感染リスクが高いとされている高齢者が大部分を占める当会では感染機会を可能な限り避けることを最優先に考える必要があるのかもしれません。来年には皆様とお会いできるよう願ってやみません。私事ですが、6 月末に 4 回目のワクチンを接種しました。5 回目の接種はいつになるかな。皆様、どうぞご自愛ください。（廿日岩）

東京 北海道びらとり会便り



「北海道びらとり会便り」第 11 号では、2022 年度総会中止について、平取町議会議長千葉良則さんからの特別寄稿、「びらとり自然ガイドクラブ「アオトラ」」の紹介、平取ダム管理棟内にアイヌ文化保全の取り組みを紹介するスペース「ノカピライウォロ・ビジターセンター」がオープンしたこと、都内で開催される平取町の物産展などを掲載しました。なお、紙面の関係で、「故郷の思い出」は休載しました。

「北海道びらとり会」は、関東圏在住者で平取町出身者及び平取町にゆかりのある方の交流と親睦を図るとともに平取町の振興発展に寄与することを目的に設立された会で、北海道に平取町という町が存在することをわかってもらおうという思いを込めて「北海道びらとり会」と命名しました。

発行：北海道びらとり会

編集：廿日岩 久典 泉 典子

発行日：2022 年 10 月 10 日

本年度(2022年度)の総会は中止します

「北海道びらとり会便り」10 号（2022 年 4 月 1 日発行）で既にお知らせしましたように 6 月の総会開催は断念しましたが、この秋に開催できないか検討してまいりました。首都圏では新型コロナウイルス感染はやや衰えをみせておりますが、現在のところ今後の感染状況の見通しは立ちません。このような感染状況を踏まえ、持回り役員会で総会開催を検討した結果、本年度（2022 度）の北海道びらとり会総会はこの秋の開催を含め中止することになりましたので、お知らせ致します。どうぞご了承下さい。

「北海道びらとり会」の最大の活動である総会が、2020 年、2021 年、2022 年と 3 年連続で開催出来ま

せん。新型コロナウイルス感染が一日も早く終息することを願ってやみません。なお、当会の役員構成は、2021 年度から暫定的に 1 年間延長（2021 年 4 月 15 日発行便り 8 号で報告）しましたが、2022 年度も総会は開催できず更に 1 年間の延長を決めました。ご了承をお願いします。

会長	廿日岩 久典（振内）
副会長	高橋 直人（豊糠）安田 忍（岩知志）
幹事	清水 洋司（川向）山口 繁（本町） 山内 銘宮子（西東京市）
会計	坂本 貢一（荷菜）
監査	佐藤 福一（荷菜）鹿戸 春二（小平）
事務局長	須藤 孝夫（岩知志）

平取町議会議長千葉良則さんからの特別寄稿文

平取町議会議長千葉良則さんに平取町議会の現状や今後の取り組み、平取町の近況などの原稿をお願いしたところご快諾を頂き、千葉議長より特別寄稿していただきました。是非、ご一読いただき我がふるさと平取に思いを寄せて下さい。



びらとり自然ガイドクラブ「アオトラ」より 二柏の丘（川向）ライトアップの様子

平取町議会議長 千葉 良則

平取町議会議長の千葉良則です。

北海道びらとり会の皆様方におかれましては益々ご健勝でご活躍のことと、心よりお喜びを申し上げます。

北海道びらとり会便り第11号の発刊に際し、廿日岩会長よりご依頼がありました最近の平取町の様子や議会の近況などを要約して皆様方に簡単な内容ではありますが、お伝えしたいと思います。

先ず平取町の基幹産業であります農業ではトマト農家を中心とした新規就農者が順調に定着し、現在まで26世帯の新規就農者の方々が全国的にも大変評価の高い「ニシパの恋人」ブランドトマトを生産し、既存の農業経営者に負けない品質で毎日頑張って生産出荷しております。昨年は12,400トン、約42億円の売り上げがあり、東京以北最大のトマト生産地として関西方面を中心に道内や関東にも順調に出荷しています。また今年は平取ダムの完成により、二風谷ダムと併せて上流側から洪水調整が可能となる、沙流川総合開発の全事業が終了しました。この事によって更に安心して農業経営ができる環境となり、平取町の農業発展に大きく貢献できるものと確信しております。

次に平取町議会の近況をご報告致します。近年は人口減少が進み、令和4年4月時点で人口約4,700人となり毎年約80人前後の人口減少に歯止めがかからない状態が続いております。町長を筆頭に理事者各位や議会も一丸となって、子育て支援や教育環境の整備そして医療福祉の充実を図り、新規事業者の補助金制度など、産業の活性化を含めて様々な支援取り組みを行っておりますが、中々効果が表れ無いのが現状であります。また平取町議会の議員定数は12名でしたが、昨年議員発議により来年行われる統一地方選挙から10名の定数とする削減条例改正を行いました。

疲弊する様なお話しばかりで恐縮ですが、近年はアイヌ文化推進の評価が見直されて白老町のアイヌ民族象徴空間「ウポイ」のオープンと平取町の「二風谷コタン」の整備が進み、まだまだ予断を許さないコロナ禍の中ではありますが、国内は元より海外からの観光客増加が大きく見込まれています。

また、学術的な観点から平取町独自のアイヌ文化の推進は、伝承者や後継者の育成、そして工芸作家の人達による優れた作品など、国際的にも注目度がとても高いものが有り、議会としても確かな応援を継続して参ります。変異を遂げ未だ猛威を振るっている新型コロナウイルスであります。北海道びらとり会会員の皆様方とのご交流再開を楽しみに、これからもふるさと平取町の応援を宜しくお願い致します。

びらとり自然ガイドクラブ「アオトラ」

何気なくFace bookをみていたら平取の自然を題材にした写真が投稿されていました。投稿者は「びらとり自然ガイドクラブ「アオトラ」」（以下、「アオトラ」とあり、メンバーの一人に阿部 正子さんの名前がありました。阿部さんは平取町役場にお勤めで、北海道びらとり会立ち上げの時に大変お世話になった方でその後も当会の事務局業務を担当していただきました。北海道びらとり会便り9号（2021年10月10日発行）より泉さんの発案により表紙として写真を掲載していますが、本号（11号）からは、「アオトラ」から写真を提供して頂き、平取町の自然を題材にした写真を表紙として掲載します。ご期待ください。

阿部さんを通して「アオトラ」の代表である船越光次さん（二風谷在住）に同会の活動などを紹介して頂きました。



「アオトラ」代表 船越光次さん（二風谷在住）

北海道びらとり会のみなさま

はじめまして。「びらとり自然ガイドクラブ アオトラ」代表 船越光次（二風谷在住）です。よろしくお願ひします。

びらとり自然ガイドクラブは、町内を散策して自然を楽しむために活動しています。それは、平取町に良い場所がたくさんあるけれど、町民で良い場所を知らない人が多いので知ってもらいたい。そして町の人から町外の方々に伝えてほしい。そんな気持ちからです

お知らせは、町のまちだよりに掲載依頼をする他、ポスター掲示とフェイスブックでお伝えしています。

ガイドの一部をご紹介します。額平川上流、豊糠の『アオトラの沢』を上流の滝まで歩く間、飾り石として古くから親しまれているアオトラが大小様々で沢山あります。このアオトラ石からクラブ名にしました。

次に、仁世宇のニセウガロー、沢の両側に見事な苔が生えています。豊糠も仁世宇も本町から車で1時間ほど走り、峡谷、溪谷の中にあります。普段はなかなか見ることができない光景に、参加者から喜びの声が多く、こちらも感激するものです。しかし、この2年間はコロナ禍のため実施できずにいます。現在は、主にライトアップで光のショーをしています。

春・秋・冬に月1～2回、二柏の丘（川向）、義経神社（本町）、二風谷ファミリーランド内の桜並木や紅葉、マカウシの滝、マカウシの氷壁、ルピナスの三和花苑（小平）、などです。コロナ禍での医療カラーのブルーで夫婦柏を照らしたり、戦争が終わることを願いウクライナカラーを表現しました。また、クリスマスカラーでサンタクロースも登場します。ライトアップ時には避難者支援募金を実施し、数回、赤十字に寄付。

今年は、2年ぶりに幌尻岳の登山ガイドをしました。日本百名山のすばらしい幌尻岳。高山植物や、素晴らしい展望に、町民や遠くからお越しいただいた方々に喜ばれました。

今後は新しく春から秋まで町内サイクリング、冬はスノーシュートレッキングなどのイベント実施を計画しています。他に、毎年カレンダーを作成。普段の活動や自然の撮影が記録に残せることにもなるし、売上はすべて町社協へ寄付しています。

この度、北海道びらとり会の方に、びらとり自然ガイドクラブのフェイスブック見ていただき、写真をお便りに使用したいとの嬉しいご連絡をいただきました。ぜひ、ご使用ください。みなさんに、平取を懐かしんでほしいし、新たな場所もお伝えしたいです。

さらに、皆さんが気になる場所があれば教えてください。撮影してお見せします。簡単ではありますが、「びらとり自然ガイドクラブ アオトラ」の活動でした。

≪Facebook びらとり自然ガイドクラブ アオトラで検索≫



額平川上流、豊糠の「アオトラの沢」とアオトラ石

平取町芽生の平取ダム管理棟内にアイヌ文化保全の取り組みを紹介するスペース

「ノカピライウォロ・ビジターセンター」がオープン

平取町芽生の平取ダムの管理棟内に平取町のアイヌ文化保全の取り組みを紹介するスペース「ノカピライウォロ・ビジターセンター」が2022年7月22日にオープンしました。

同ビジターセンターは、平取ダム建設にあたってのアイヌ文化保全対策を検討する「平取ダム地域文化保全対策検討会」での審議などを踏まえ、平取ダム管理棟内に整備を進めてきたそうです。

「ノカピラ」はアイヌ語で「糠平川」、「イウォロ」は「狩り漁、植物採取など生活資源を得る場所」を意味するそうです。1階は幌尻岳をパネルや展示物を使って紹介。2階は糠平川流域の文化の歴史や祈りの場で使われていた祭具などを紹介、パネル展示やテラスからの景観など、アイヌ文化を学ぶ空間を備えた

スペースですとPRしています。

平取町への帰省や北海道旅行の際には是非旅行日程に加えてください。

住所：〒055-0323 沙流郡平取町字芽生 84-7

開館時間：10:00～16:00

開館日等下記にお問い合わせの上、お出かけください。

なお、展示の説明を希望する場合は予約が必要だそうです。

平取ダム管理棟 TEL:01457-5-5266

鶴川沙流川河川事務所 TEL:01457-2-4221

（出典：2022年7月19日付室蘭建設部広報官 Press Release、室蘭建設部 作成「ノカピライウォロ・ビジターセンターとは？」2022年7月27日付北海道建設新聞電子版）